

12 林道の適正な維持管理による災害の未然防止 【林道・作業道の整備】

〈事業の経緯〉

市が管理する林道延長はおよそ 524 kmと管理延長が長く、また地元林道管理組合の高齢化や山離れにより林道の適正な維持管理が難しい状況にある。このため、側溝が埋塞し排水障害が生じており、このまま放置しておくとならぬ側溝から溢れた排水により道路崩壊等の災害発生の誘因となる可能性が高いため、早急に側溝の堆積土砂を除去する必要がある。

〈事業の目的・効果〉

堆積土砂により排水障害を生じている道路側溝の清掃をすることで、災害の未然防止、山林の荒廃防止と適正な林道管理につなげる。

■事業内容

〈林道下呂～萩原線側溝等清掃工事〉

林道下呂～萩原線のおよそ 15 km区間の道路側溝に堆積した土砂を撤去する。
施工は以下のとおり下呂地域、萩原地域の 2 工区とし実施する。

・工事概要

- 1 工区 下呂市御厩野～乗政地内（下呂～萩原線起点から 12.9 km 区間）
側溝清掃工 L=7,500m、横断工清掃工 L=190m
- 2 工区 下呂市桜洞～中呂地内（下呂～萩原線終点から 12.9 km 区間）
側溝清掃工 L=7,800m、横断工清掃工 L=195m

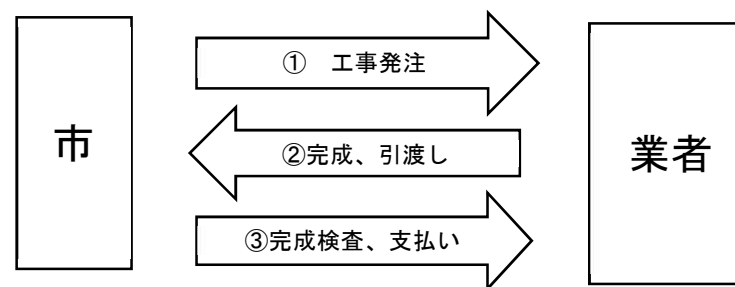
■事業費

繰越予算（5→6年度）14,193千円（内譲与税14,093千円）

■下呂市森林づくり基本計画

IV 6. 林道・森林作業道について

■事業スキーム



■実施イメージ

